

形態制御解析学分野

A 欧文

A-a

1. Yamaza H, Komatsu T, Wakita S, Kijogi C, Park S, Hayashi H, Chiba T, Mori R, Furuyama T, Mori N, Shimokawa I: Foxo1 is involved in the antineoplastic effect of calorie restriction. *Aging Cell.* 9 (3): 372-82, 2010 (IF: 7.544)
2. Jeon CY, Kim HJ, Morii H, Mori N, Settleman J, Lee JY, Kim J, Kim SC, Park JB.: Neurite outgrowth from PC12 cells by basic fibroblast growth factor (bFGF) is mediated by RhoA inactivation through p190RhoGAP and ARAP3. *J. Cell Physiol.* 224 (3): 786-794, 2010 (IF: 4.586)
3. Okamoto A, Koike M, Yasuda K, Kakizuka A.: Maintaining ATP levels via the suppression of PERK-mediated rRNA synthesis at ER stress. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 394 (1): 42-47, 2010 (IF: 2.548)

B 邦文

B-b

1. 森 望：脳の中の寿命遺伝子．理大科学フォーラム 312: 7-13, 2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
6	2	4	3	1	2

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
森 望・教授	理事	日本基礎老化学会
森 望・教授	評議員	日本解剖学会
森 望・教授	評議員	日本神経化学会
森 望・教授	評議員	日本生化学会
森 望・教授	科学研究費補助金専門委員	日本学術振興会
森 望・教授	理事	NPO 法人長崎県メンタルヘルス研究会
森 望・教授	客員研究員	(財)博慈会老人病研究所
森 望・教授	科学技術政策研究所 専門調査委員	文部科学省

競争的研究資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
森 望・教授	文部科学省	代表	特定領域研究 ホスホチロシンシグナルアダプターから見る海馬神経シナプス可塑性制御の分子基盤
森 望・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 老化脳制御への基盤分子に関する研究:神経骨格制御から神経寿命制御へ
森 望・教授	喫煙財団 特定研究	代表	ニコチンの神経伝達調節作用に関する研究
森 望・教授	日本学術振興会	代表	アジアの健康長寿をめざす老化制御研究と地域老年医療教育拠点の構築

その他

氏名・職	活動題目	実施年月日	活動内容
森 望・教授	市民講演会『老いをみつめる科学』	2010年 11月21日	市民参加者へ向けて健康長寿をめざす科学的理解の現状を研究の最前線も含めてわかりやすく紹介した。